

第一支部

報告事項

報告事項

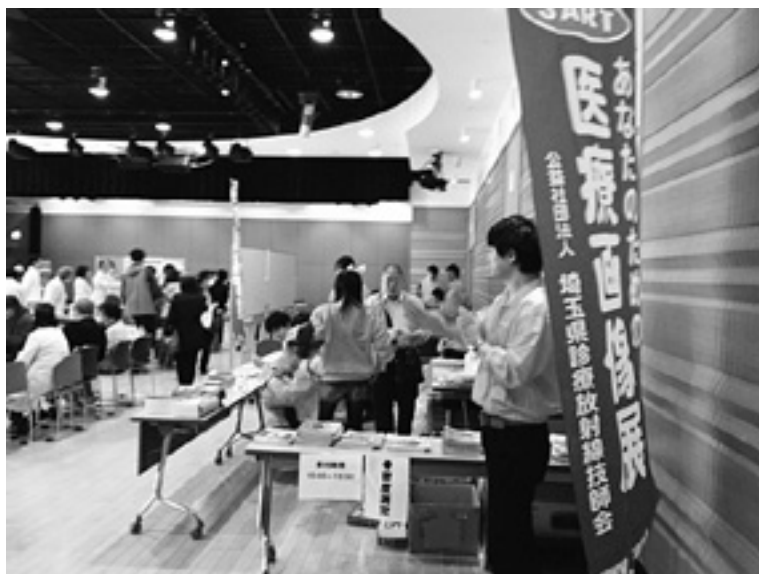
1、「浦和区健康まつり」

日 時：平成 24 年 11 月 3 日（土）10：00～16：00

場 所：浦和コミュニティセンター（浦和駅東口コンナレー10階）

参加事業：「無料の超音波式骨密度測定、放射線検査の啓発・説明」

測定人数：320人



2、第3回 地区勉強会

日 時：平成24年12月13日（木）18：50～20：30

場 所：コムナーレ浦和9階（浦和パルコ）15集会室

参加費：500円

内 容：Ⅰ.「放射線科での診療報酬改訂の解釈」

第一三共株式会社 手塚 一明

Ⅱ.「楽しくなる胃X線撮影」

済生会川口総合病院 池田 圭介

Ⅲ.「冠動脈MRA検査の実際」

三愛病院 大塚 忠義

3、地区忘年会

日 時：平成24年12月13日（木）20：50～

場 所：浦和駅東口 Bon Tigger ボン・ティガー

第二支部



「所沢市健康まつり」に参加して

圏央所沢病院 児玉 麗美

平成 24 年 11 月 11 日（日）、所沢市保健センターにて「所沢市健康まつり」が開催されました。当日の天候は曇りでしたが、1200 名の方々が来場されその好評ぶりが伺えました。

第二支部も例年通り「あなたのための、医療画像展」として事業に参画しました。市民注目の骨密度測定は 376 名でした。昨年は 215 名、一昨年は 350 名でしたので、今年はより多くの方に骨密度測定を体験していただけたのではないかと思います。また参加者の中には、昨年の測定結果をお持ちいただく方もおり、結果を比べて委員とお話している光景も見受けられました。普段の診察や検査の時には聞きにくいことも、このような場では気軽に質問することができるのではないのでしょうか。

毎年人気の骨密度測定に加え、サッカーゲームや輪投げなどの子供用ゲーム、お菓子、おもちゃなどもありました。骨密度測定をする父母などを待つお子様だけでなく、通りかかった子供達も興味を持ち、ゲームを楽しんでいました。中には測定を終えられたご年配の方も参加しておられました。

昨年に引き続き所沢市のイメージマスコット「トコロん」も参加しました。「トコロん」は子供達に大人気で何度も記念撮影を頼まれました。放射線ブースは子供達の明るい笑い声が多かったように感じました。

今回、初めての参加でしたが、来場者も多く活気あふれる「所沢市健康まつり」に楽しんで参加することが出来ました。今後とも参加していきたいと思います。

最後に、運営に携わった役員をはじめ、第二支部会員の皆様、本当にお疲れ様でした。

＜実行委員＞

安保 靖彦（所沢市保健センター）	松本 諭一（所沢市市民医療センター）
大西 圭一（所沢ハートセンター）	吉澤 康宏（圏央所沢病院）
梶野 恒三（所沢市市民医療センター）	(五十音順)
児玉 麗美（圏央所沢病院）	
古寺 史一（所沢中央病院）	
千田 俊秀（所沢市市民医療センター）	
中邑 友香（所沢市市民医療センター）	
中村 雄幸（間柴医院）	
藤井 大悟（石心会狭山病院）	
本郷 久利（わかさクリニック）	
前田 有弘（所沢市市民医療センター）	



ここが放射線ブース!



第6回勉強会特別講演座長集約

所沢市市民医療センター
放射線科 千田 俊秀

特別講演として、慶応義塾大学予防医療センター吉田論史先生による「胃癌のX線診断～読影の補助に向けて～」と題して講演をいただいた。

胃癌検診の理念は「救命可能な胃癌の早期発見」であり、その標的病変の大きさは、基準撮影法により読影基準を構築するための指標として、存在診断は10 mm前後、質的診断の場合は25 mm前後としている。

早期胃癌は、腫瘍の粘膜進展に伴う粘膜表面の凸凹変化が主体であり、進行胃癌は腫瘍の深部胃壁浸潤に伴う胃壁の肥厚と硬化像所見が主体である。

画像診断は、病理診断の定義による思考過程を表現していないのが現状であり、X線所見により良悪性の判定を定義することが大きな課題である。

指標別X線所見用語として、陥凹面と大きさ【顆粒状、凸凹不整、平滑、粘膜不整】陥凹境界と形【粗大、波状、顆粒状、棘状、微細、不明瞭】粘膜ひだと配列【中断、ヤセ、消失、肥大、(無)】と定義し、陥凹型早期胃癌読影基準案はX線所見を陥凹面、陥凹境界、粘膜ひだに求めている。

まとめとして、X線的良悪性判定の考え方は、陥凹型早期癌を中心として、①胃癌のX線検診における良悪性判定には、腫瘍の特徴と読影の着眼点を知る必要がある。②陥凹型早期癌と確定しうるX線像には、いくつかの特徴的なパターンがある。③最終病理診断結果が得られない場合でも、X線的な良悪性判定の考え方を分析することで、胃癌X線検診の精度向上に貢献する事ができるとしている。

講演後の質疑応答では、「ABC検診について」の質問が有り、「ABC検診は胃癌になる確率の検査であり、X線検査は、胃癌有無や診断をできる検査で、趣旨が異なる検査である」と位置付けの違いを述べた。

忘年会開催報告

所沢ハートセンター
放射線科 柴 俊幸

日に日に風が冷たくなり、まさに冬の到来を感じ始めた今日この頃。日頃の業務も年末に向け多忙になって行くとは思いますが、そんな中11月27日（火）に毎年恒例の忘年会が開催されました。

皆様も実感としてあるとは思いますが、近年“飲みニケーション”の場というのは日に日に減っているように感じます。家庭の事情やプライベートな用事、または仕事が忙しすぎて…という理由で敬遠せざるを得ない方も多数いらっしゃると思います。

第二支部に所属する施設は、その規模も場所も様々であり、交通についても決して便のいい地域とはいえない現状ではあります（お酒の席を設ける場合では特に…）。そのような中でも先輩技師さんから新人技師の方までご参加いただき、大変有意義な時間を過ごせたと感じます。

業務終了後（もしくは休日）の貴重な時間をいただき、安くはない会費も払って参加するような会ですので、少しでも何かを持ち帰り、今後の業務の、もしくは人生の糧となるような経験になればと思い第2支部ではこのような会を開催させていただいています。

少し話は変わりますが、第二支部では今年度、一・二・六支部および二・三支部合同での勉強会を開催させていただきました。多数の方のご協力もあり、有意義で内容の濃いものとすることができ、色々な方からお褒めの言葉もいただくことができました。また定期的勉強会につきましても、技師会や県内、職種に関わらず様々な方に講演や座長を引き受けていただきました。普段疑問に思っていることやその先に進むために必要な知識、技術についての講演や質疑応答ができたのではないかと考えます。

しかし「支部開催」という身近な勉強会だからこそ、もっと気楽に参加、もっと気楽に質問をしていただいてもいいのではと感じることが多々あります。自分が疑問に思っていることは、みんなが疑問に思っていることだと考え、積極的に質疑応答をしていただければ、より活発な勉強会になるのではないかと考えます。

今後もこのような忘年会をはじめ、勉強会後の懇親会は開催していきたいと思えます。そして勉強会だけでは足りない時間を、お酒も交えて少し噛み砕いてお話しして補っていただければと思います。

決して強制ではなく、できるだけ多くの方が「技師会の飲み会なら行きたいな」と思えるような、そんな会を目指したいものです。

第三支部

第三支部だより

第三支部理事 庭田 清隆

(1) 第3回 第三支部 勉強会 開催

日 時： 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 19:00～

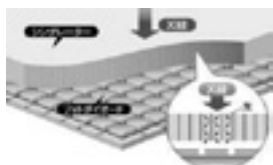
場 所： 埼玉医科大学病院 第 2 講堂 (基礎医学棟 1F: 本館隣)

内 容： 演題名 (仮) ・フラットパネルの使用経験 (一般撮影)

講師 渡辺 嵩広

演題名 (仮) ・デュアルエナジー (CT)

講師 戸矢 雅人



(2) 平成 24 年度 第三支部 定期総会 開催

日 時： 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 20:30～

場 所： 埼玉医科大学病院 第 2 講堂 (基礎医学棟 1F: 本館隣)

内 容： 平成 24 年度事業報告、決算報告、平成 25 年度事業計画案、他

(3) 第3回 第三支部 役員会 開催

日 時： 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 21:00～

場 所： 埼玉医科大学病院 第 2 講堂 (基礎医学棟 1F: 本館隣)

内 容： 平成 25 年度事業計画担当、開催日時等、確認事項

(4) 第三支部・第三地区 平成 25 年度事業計画案

- 第 1 回 第三支部勉強会 (平成 25 年 6 月 開催予定)
- 役員会 (平成 25 年 6 月 開催予定)
- 納涼会 (平成 25 年 7 月 開催予定)
- 役員会 (平成 25 年 7 月 開催予定)
- リレー・フォー・ライフ川越 (平成 25 年 9 月 参加予定)
- ボウリング大会 (平成 25 年 10 月 開催予定)
- 役員会 (平成 25 年 10 月 開催予定)
- 川越市健康まつり (平成 25 年 11 月 10 日 あなたのための医療画像展開催)
- 第二支部第三支部合同勉強会 (第 2 回 第三支部勉強会 (平成 25 年 12 月 開催予定))
- 役員会 (平成 25 年 12 月 開催予定)
- 新年会 (平成 26 年 1 月 開催予定)
- 第 3 回 第三支部勉強会 (平成 26 年 3 月 開催予定)
- 役員会 (平成 26 年 3 月 開催予定)
- 平成 25 年度 第三地区 定期総会 (平成 26 年 3 月 開催予定)



第三地区会



(5) 第三地区ボウリング大会開催報告

日時 平成 24 年 10 月 25 日 (木) 19:00~20:00

場所 川越ボウリングセンター

参加者 44 名

今年も第三地区ボウリング大会を開催いたしました。

44 名もの方が参加していただき大盛り上がりで開催することができました。



(6) 第 26 回 川越市健康まつり あなたのための医療画像展開催報告

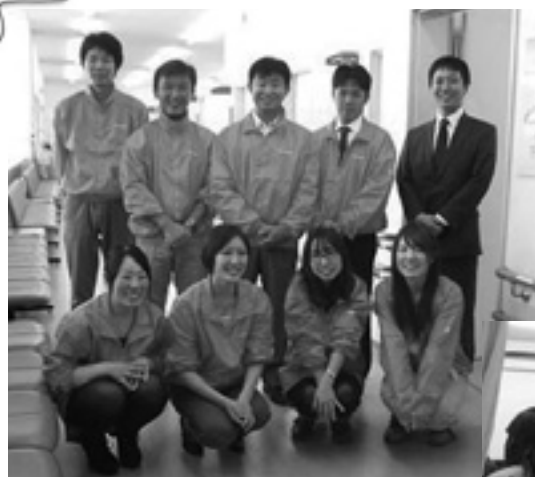
日時 平成 24 年 11 月 4 日 (日) 10:00~14:00

場所 川越市総合保健センター

参加者 10 名 (協力: 東芝メディカルシステムズ (株) 2 名を含む)

回覧者 513 人 (川越市健康まつり総来場者数 3,237 人)

骨密度測定 50 人



川越市マスコットキャラクター
ときも



(7) 第2回 第三支部勉強会開催報告

日時 平成24年11月20日(火) 19:30~21:00
 場所 埼玉医科大学国際医療センター C棟2階会議室
 参加 41名
 内容 当院における乳がん患者の検査から手術まで
 講師 埼玉医科大学国際医療センター 森田 政則
 講師 埼玉医科大学国際医療センター 山口 春果



(8) 第二支部第三支部合同勉強会開催報告

日時 平成24年12月1日(土) 14:00~17:45
 場所 埼玉医科大学川越クリニック 6階 大会議室
 参加 83名
 内容 HOW TO 急性腹症@当直中
 講師 石心会狭山病院放射線科 伊藤 寿哉
 講師 防衛医科大学校病院放射線部 征矢 強
 講師 埼玉医科大学病院中央放射線部 佐々木 剛
 講師 埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 細井 慎介
 講師 埼玉医科大学総合医療センター放射線科 長田 久人 氏



第二支部第三支部合同勉強会を開催、総勢83名の方に参加していただきました。
 今後とも、支部活動を活発とするため出来る限りの情報提供の場を考えております。
 たくさんの方の参加をお待ちしております。



(9) 第二支部第三支部懇親会開催報告

日時 平成24年12月1日(土) 18:30~20:30
 場所 ラ・ボア・ラクテ川越 2階 オリオン
 参加 32名



診療放射線技師 1 年生 川越市健康まつりに参加して

第三支部 埼玉医科大学総合医療センター 石脇 花織

今年度 4 月に診療放射線技師となった私ではありますが、埼玉県診療放射線技師会の『あなたのための医療画像展』実行委員を務めさせていただき、診療放射線技師の仕事について一般撮影・マンモグラフィ・CT 検査・MRI 検査・透視検査・血管撮影など、パネルを用いて来場された方々に説明を行いました。また今回、東芝メディカルシステムズ(株)様よりマンモビューアのデモを行っていただき、乳房撮影から現状のモニタ診断についての説明を行っていただきました。

来場された方の中には放射線検査を受けられたことのある方、これから検査を受けようと思健康まつりに来場された方など様々で、検査がどのように行われるのか、どうして検査によって“前処置”といったものが必要なのかなど質問を多く受けました。またお子さん連れの来場者が多く、展示されている X 線フィルムに興味を持たれていました。お子さんからは普段見ることのない血管の画像や、消化管の画像を見て“自分の体ではどの辺”と興味津々で、子供に分かりやすく説明するにはどうすればいいのかと戸惑ってしまいましたが、普段、病院でしか話すことのない子供達と触れ合う事がとても新鮮に感じられました。

親御さんからは昨年東日本大震災で発生した、福島第一原発事故による被ばくについての質問が多く、被ばくに対する不安から“どの検査でどのくらいの被ばくがあるのか”と言った声が多く聞かれました。展示した自然放射線パネルを用いて医療被ばくについての説明を行いました。私の説明でどれだけ理解していただけたか不安で“まだまだ勉強不足”、“被ばくについての知識を高めなくてはいけない”と痛感する一日でした。

今回、川越市総合保健センターのご協力により、医療画像展のほか骨密度測定を行いました。骨密度測定は先着 50 名と限定して行いましたが、朝早くから“骨密度の測定に来た”、“どこで測定するの”など多くの方が整理券を求め列をなし、人気の高さを感じました。実際に測定を受けられた方に結果をお渡しする時に“ありがとう、これからも食生活に気をつけよう”と言われ、骨密度測定が健康への意識の高まりに繋がっていると実感しました。

休憩のひととき、他団体のブースを見学しました。がん検診・糖尿病・調剤・食事など健康に繋がる催し物が開催され、医師会・歯科医師会・薬剤師会・鍼灸師会など多くの団体が職種を問わず健康まつりを盛り立てるために協力され、自分がその実行委員として参加できたことをとても嬉しく感じました。

今回、川越市健康まつりでお会いすることができた皆さまに、放射線検査についてご理解いただけたか不安ではありますが、来場された方の中には普段通院されていると言う方もおられ、病院での患者様と診療放射線技師の関係とはまるで違った印象を受けました。

わずかな時間ではありましたが健康まつりでのコミュニケーションの場は、これから数十年と続く私の診療放射線技師という仕事において貴重な財産となるに違いありません。

この場をお借りし、今回、実行委員に推薦していただいた埼玉県診療放射線技師会に深く感謝を申し上げます。



第四支部

第7回深谷市福祉健康まつり参加報告

埼玉県診療放射線技師会第四支部は、平成24年10月28日（日）に行われた第7回深谷市福祉健康まつりに参加しました。

今年は「支え合おう！福祉と健康のまち」をメインテーマとし、市民の方々に福祉と健康の意識を高めってもらうため、98の参加団体による様々な催し物が行われました。

第四支部では毎年恒例となっている「パネル展示」・「骨密度測定」・「ヨーヨー釣り」に加えて、栗原医療様、小川赤十字病院検査科の坂上様、桜ヶ丘病院の高橋様のご協力で頸部エコーによる血管年齢測定を行いました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、骨密度測定200名、頸部エコー149名と例年同様に、たくさんの方にご来場していただきました。特に、頸部エコーは担当者が休憩返上で行うほどの盛況ぶりでした。

今後も第四支部では継続して福祉健康祭りに参加し、診療放射線技師という職業や技師会の活動について知っていただけるように努力していきたいと思っております。実行委員の皆さん、大変お疲れ様でした。



医用画像展風景



骨密度測定



ヨーヨー釣り



頸部エコー



実行委員

深谷市福祉健康まつり実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
山田 伸 司	小川赤十字病院	萩原 貴 之	行田中央病院
関根 茂 夫	小鹿野中央病院	高橋 強 悦	桜ヶ丘病院
萩本 孝	東松山市立市民病院	坂上 敦	小川赤十字病院 (検査科)
長谷川 英 治	羽生総合病院	高井 太 一	小川赤十字病院
大野 涉	羽生総合病院	小林 茂 幸	深谷赤十字病院
清水 浩 和	熊谷総合病院	坂本 里 紗	深谷赤十字病院
白石 広 子	熊谷総合病院		

第五支部

第五支部

情報交換会

場所は春日部市にある市民活動センター〔ふれあいキューブ〕
会議室をご用意いたします

1月17日 19:00～(予定)

2月21日 19:00～(予定)

詳しくはHP等でご案内いたします。

(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

(グチや世間話でもOKです)

テーマなど皆様のご意見をお待ちしています。

第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)

情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

越谷市民祭りに参加しました
たくさんの方が来場されました



親睦ゴルフを開催いたしました

16名と多数の参加をいただきました

次回は春です。多数のご参加お待ちしております。

第六支部



埼玉県診療放射線技師会第六支部

発行：埼玉県診療放射線技師会第六支部

1. 巻頭言 学術 竹内 信行
2. 定期講習会報告
3. 忘年会報告

2012年12月2日 平成24年度 第5号

巻頭言

社会保険大宮総合病院 竹内 信行

はじめまして、社会保険大宮総合病院の竹内です。第六支部役員を務めさせていただき約2年経ちますが、引っ込み思案な私は皆さんについていく事に必死で、何も力添えできていません。役員のみなさんの支部会活動でのバイタリティーや仕事に向かう姿勢や考え方を見ていると常々プロフェッショナルな人達だなあと感じています。

平成22年4月30日に厚生労働省より発表された医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進案の中で放射線技師に課された役割の1つに“画像診断における読影の補助”という項目がありました。当院の状況は検診センターで撮影したMDLのチェックを行っていますが、あくまで病変の存在指摘をするくらいです。みなさんの施設ではどうでしょうか。放射線技師がコメントを事細かに書く施設もあれば、そこまで必用としない施設もあると思います。しかし、モダリティーにおけるスペシャリストがいれば病院や医者に頼りにされるし、放射線技師である以上そういう存在になれるよう

がんばっている人も少なくないと思います。

私も何か自信を持てるものを増やしていき、いつかプロフェッショナルな仕事ができるようになりたいものです。

最近「診療放射線技師の職域の拡大」なんて事をよく耳にしますが、正直私は否定的な考えが先行しました。読影の勉強もやらなくては行けないし、HIS、RISなどの医療情報システムやネットワークは複雑で難しいし、確実に仕事量も増えるはずで。技師による読影、画像管理システム、ネットワークの構築、静脈注射（針刺しは除く）など、今後あらゆる仕事の幅が求められる時代になると思います。これからの10年で放射線技師はさらにプロフェッショナルである事、自律的にプロフェッショナルを確立していかなければなりません。先の事を考えると頭が痛くなりますが、日々精進して仕事に取り組みたいと思います。

平成 24 年度 第 2 回定期講習会報告

指扇病院 石川 直哉

平成 24 年 11 月 1 日（木）さいたま赤十字病院にて第 2 回定期講習会が開催されました。今回の定期講習会では 3 講演が行われ、参加人数は、35 人でした。第 1 部のテーマは「スポーツ整形の現場から(疲労骨折について)」で講師は西大宮病院 葛岡 智典様。第 2 部のテーマは「乳癌の症例からみるMMGの基礎検討」で講師は丸山記念総合病院 芦葉 弘志様。第 3 部のテーマは「CT colonography」で講師は埼玉県立がんセンター 松本 智尋様でした。

第 1 部のテーマ「スポーツ整形の現場から(疲労骨折について)」については、参考資料を第六支部ホームページの資料掲載に添付してありますので是非参考にしてください。



忘年会報告

丸山記念総合病院 古谷麻実

11 月 15 日(木)19 時より、旬葉家 介 大宮店にて平成 24 年度の第六支部忘年会が開催されました。

入職まもない方から経験豊富な方まで 30 名を超える参加でした。

他施設の方との交流をもつことができ、私自身とても有意義な時間を過ごすことができました。

忘年会開催を企画していただいた幹事・役員の方々に感謝申し上げます。



Lock ON